分散の加法性を視覚的に理解する

Sampo Suzuki, CC 4.0 BY-NC-SA 2021-05-31

Introduction

2021 年度データ分析勉強会のテキストである『統計解析のはなし』 [大平, 2006] の「標本が 2 つになれば」 (P26~) には分散の加法性の話が出てきます。分散の加法性は理解できるようでいて、理解できていないので、 ${f R}$ を使って分散の加法性を可視化しながら説明してみます。 以降、平均値 μ 、標準偏差 σ 、分散 σ^2 である正規分布を $N(\mu,\sigma^2)$ と表記します。

加法性を可視化する

以下の平均値と標準偏差を持つ二つの正規分布を rnorm() 関数による正規分布乱数を用いて作成¹します。

Table 1: 二つの正規分布

正規分布	平均	標準偏差	備考
$ \overline{N(\mu_a, \sigma_a^2)} N(\mu_b, \sigma_b^2) $		$\sigma_a = 10$ $\sigma_b = 10$	

```
a <- rnorm(n, mean = 10, sd = 10)
b <- rnorm(n, mean = 30, sd = 10)
```

Table 2: 二つの正規分布の要約統計量

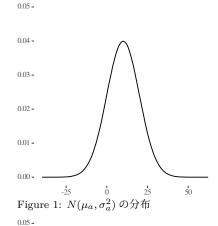
正規分布	平均	分散	標準偏差	備考
$N(\mu_a, \sigma_a^2)$	10.0016756	99.9836706	9.9991835	
$N(\mu_b, \sigma_b^2)$	29.9992382	99.9499051	9.9974949	

この二つの正規分布 $N(\mu_a, \sigma_a^2)$ と $N(\mu_b, \sigma_b^2)$ からランダムサンプリングにより一つずづ値を取り出して加算します。すなわち

 $N(\mu_a, \sigma_a^2)$ から取り出した値 + $N(\mu_b, \sigma_b^2)$ から取り出した値

という新しい値を作成します。取り出した値は元に戻し、同様の取り出し、加算を繰り返すと以下のようなデータが作成できます。ここではスペースの都合で先頭から限定して表示しています。

 $1n = 5 \times 10^6$ 個の値を作成しています



0.04 - 0.03 - 0.02 - 0.01 - 0.00 -

Figure 2: $N(\mu_b, \sigma_b^2)$ の分布

```
head(c, 50)
## [1] 46.1163151 20.3791277 53.3515673 21.8963015 61.1246494 51.2528823
## [7] 31.6871108 39.2162349 17.5558542 20.7128908 59.3459501 14.2180864
## [13] -0.2665056 25.7861722 36.7150493 57.6574579 44.5347530 27.7907453
## [19] 41.6449701 45.0677697 29.9428047 27.7026317 20.0414525 47.8090035
## [25] 27.3501016 23.2370535 55.4529451 56.2804943 39.5785953 45.5288645
```

c <- c(sample(a, n, replace = TRUE) + sample(b, n, replace = TRUE))</pre>

[31] 40.5379614 25.2187384 7.5660458 28.6497265 32.3198940 54.7287173

[37] 34.1525732 28.1064348 31.9661833 51.1781650 40.7792296 41.0413417

[43] 60.3036364 34.8352682 51.7803487 12.9406436 37.7692407 43.7219224

[49] 48.3308208 44.2242397

分散の加法性により上記のデータは $N(\mu_a + \mu_b, \sigma_a^2 + \sigma_b^2)$ という正 規分布になるはずですが実際はどうでしょう。各正規分布の平均値と 分散を比較します。

Table 3: 各分布の要約統計量

正規分布	平均	分散	備考
$N(\mu_a, \sigma_a^2)$	10.0016756	99.9836706	元の分布
$N(\mu_b, \sigma_b^2)$	29.9992382	99.9499051	元の分布
$N(\mu_a + \mu_b, \sigma_a^2 + \sigma_b^2))$	40.0009138	199.9335756	分散の加法性
$N(\mu_c, \sigma_c^2)$	39.9967145	200.0743299	実際の分布

このように確かに分散の加法性が成り立っており、正規分布 $N(\mu_a,\sigma_a^2)$ や $N(\mu_b,\sigma_b^2)$ より横に広がった正規分布になっていることが 分かります。

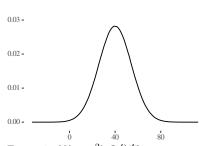


Figure 3: $N(\mu_c, \sigma_c^2)$ の分布

0.05 -

0.04 -

同一の正規分布から取り出し値を加算した場合

次に二つの正規分布 $N(\mu_a, \sigma_a^2)$ と $N(\mu_b, \sigma_b^2)$ がまったく等しいと仮 定します。つまり

 $\mu_a = \mu_b = \mu_d$

 $\sigma_a = \sigma_b = \sigma_d$

という正規分布 $N(\mu_d, \sigma_s^2)$ を作成します。

```
d < rnorm(n, mean = 10, sd = 10)
```

head(d, 50)

```
## [1] 10.4718478 4.9849636 24.4768738 5.9558301 7.7480742 27.4413166
## [7] 21.1164196 9.3571719 17.2357327 12.3316145 26.9292925 7.1489398
## [13] 3.7063110 23.2323883 -8.4626318 5.5915979 -9.7637977 21.3708252
## [19] 5.3004719 18.2108842 17.0170253 16.5061865 25.3001358 15.1217001
## [25] 4.4774172 6.0094778 8.5488500 13.9068968 34.5300485 2.7411102
## [31] 3.2848838 9.3957845 24.7347964 0.3809330
                                                   5.7002271 16.1209396
## [37] 14.4848248 24.6707233 -0.1087532 11.4830700 7.1821467 1.8100113
## [43] 13.7401719 -11.3177720 27.2871844 21.5304871 12.7569856 10.1043822
## [49] 28.2371418 18.4233884
```

この正規分布 $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ から先程と同様にランダムサンプリング により一つずづ値を取り出して加算しますが、今回は同一正規分布 $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ ですので、二つ取り出します。取り出した値は元の正規分 布に戻し同様の操作を繰り返します。

```
head(e, 50)
## [1] 8.994299 34.512526 8.023292 1.853060 11.134472 13.456867
## [7] -1.236911 43.042327
                             9.688241 26.203479 32.099955 10.895178
## [13] 28.656876 21.727965 25.561257 18.999813 17.953008 27.535234
## [19] 23.392168 24.511423 63.000654 20.293859 18.665178 3.437621
## [25] 37.886192 2.147762 22.421276 14.121936 8.985141 16.292188
## [31] 23.056984 28.247759 37.227212 21.648009 25.883282
                                                          5.507856
## [37] 4.249043 26.259230 26.205216 42.227126 30.747036 13.058043
## [43] 26.658647 28.697299 4.633673 25.371136 -16.056406 22.763227
## [49] 12.493839
                  8.654325
```

e <- c(sample(d, n, replace = TRUE) + sample(d, n, replace = TRUE))

分散の加法性により以下が成り立ちます。

$$N(\mu_d + \mu_d, \sigma_d^2 + \sigma_d^2) = N(2\mu_d, 2\sigma_d^2)$$

つまり、正規分布 $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ から取り出した二つの値の和である正 規分布 $N(\mu_e, \sigma_e^2)$ は

Table 4: 加法性による要約統計量

正規分布	平均	分散	標準偏差	備考
$N(\mu_e, \sigma_e^2)$	$2\mu_d$	$2\sigma_d^2$	$\sqrt{2\sigma_d^2} = \sqrt{2}\sigma_d$	

という正規分布をすることになります。加法性と実際の正規分布を 比べてみると

Table 5: 各分布の要約統計量

正規分布	平均	分散	備考
$ \frac{N(\mu_d, \sigma_d^2)}{N(2\mu_d, 2\sigma_d^2)} \\ N(\mu_e, \sigma_e^2) $	9.997214	100.010064	元の分布
	19.994428	200.020128	分散の加法性
	19.9875562	199.9765249	実際の分布

となり、同一正規分布の場合でも分散の加法性が成り立っているこ とが分かります。

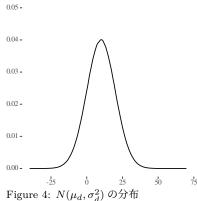


Figure 4: $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ の分布

0.05 -

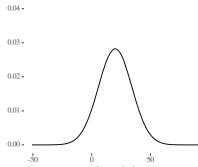


Figure 5: $N(\mu_e, \sigma_e^2)$ の分布

同一の正規分布から取り出した値を平均した場合

同一の正規分布 $N(\mu_d,\sigma_d^2)$ から取り出した二つの値の**平均値の分** 布を考えてみます。「二つの値の平均値の平均値」とは、正規分布 $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ から、ランダムサンプリングで二つの値を取り出して、そ の平均値を取るということです。取り出した値は元の正規分布へ戻し、 同様の操作を繰り返します。

- f <- c((sample(d, n, replace = TRUE) + sample(d, n, replace = TRUE)) / 2)</pre> head(f, 20)
 - ## [1] 8.656109 6.365271 10.716425 1.298762 9.633547 9.873571 4.596933
 - ## [8] 11.911069 15.384756 12.053533 11.393067 1.115477 12.317064 10.701997
 - ## [15] 15.624726 19.306380 8.377597 3.342314 6.966565 -2.440361

この正規分布正規分布 $N(\mu_f,\sigma_f^2)$ は、二つの値の平均値、つまり二 つの値を半分に割った値ですので正規分布 $N(2\mu_d, 2\sigma_d^2)$ のすべての値 を半分にした正規分布になると予想できます。

「二つの標本の平均値」の平均値
$$=rac{2\mu_d}{2}=\mu_d$$

「二つの標本の平均値」の標準偏差
$$= rac{\sqrt{2}\sigma_d}{2} = rac{\sigma_d}{\sqrt{2}}$$

「二つの標本の平均値」の分散
$$=(rac{\sigma_d}{\sqrt{2}})^2=rac{\sigma_d^2}{2}$$

Table 6: 各分布の要約統計量

正規分布	平均	分散	標準偏差	備考
$N(\mu_d, \sigma_d^2)$	9.997214	100.010064	10.0005032	元の分布
$N(\mu_d, \frac{\sigma_d^2}{2})$	9.997214	50.005032	7.0714236	分散の加法性
$N(\mu_f, \sigma_f^2)$	9.9943811	50.0335932	7.0734428	実際の分布

このように元の分布よりも鋭い分布になっていることがわかり ます。

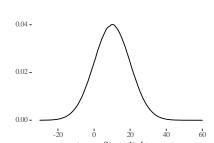


Figure 6: $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ の分布

0.06 -

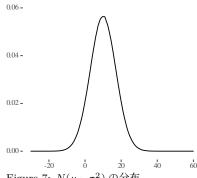


Figure 7: $N(\mu_f, \sigma_f^2)$ の分布

三つ値の平均値の場合

次に同一の正規分布 $N(\mu_d, \sigma_d^2)$ から取り出した三つの値の**平均値の** 分布を考えてみます。

```
g <- c((sample(d, n, replace = TRUE) + sample(d, n, replace = TRUE)
      + sample(d, n, replace = TRUE)) / 3)
head(g, 20)
## [1] 9.9478545 26.1820143 6.5311987 17.3877299 6.2840528 9.3267385
## [7] 10.2109100 18.8806762 16.1432096 10.6349812 22.8358974 0.1243132
## [19] 6.4501340 6.1338214
```

Table 7: 各分布の要約統計量

正規分布	平均	分散	標準偏差	備考
$N(\mu_d, \sigma_d^2)$ $N(\mu_g, \sigma_g^2)$ 比率		100.010064 33.3155596 0.3331221	10.0005032 5.7719632 0.5771673	元の分布 実際の分布 元の分布に対する比率

標準偏差の比率(0.5771673)は、 $\frac{1}{\sqrt{3}}=0.5773503$ とほぼ等しいこ とが分かります。これより

$$N(\mu_g, \sigma_g^2) = N(\mu_d, \frac{\sigma_d^2}{3})$$

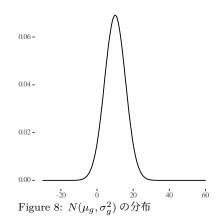
となることがわかります。

一般化すると

同一正規分布 $N(\mu, \sigma^2)$ から取り出した n 個の値の**平均値の分** $\mathbf{f}N(\mu,\sigma_n^2)$ は

$$N(\mu_n, \sigma_n^2) = N(\mu, \frac{\sigma^2}{n})$$

であり、平均は変わらず標準偏差が $\frac{\sigma}{\sqrt{n}}$ となります。



おまけ(小室先生のアドバイスから)

分散の加法性が成り立つには「データが独立」であるという前提条 件があります。データが独立ということはデータ間の相関はないはず なので、乱数生成した二つのデータが本当に独立(無相関)なのかを 確認します。

```
f <- function(n = 5000000) {</pre>
 # 乱数生成したデータ
  x < -rnorm(n = n, mean = 10, sd = 10)
   y < -rnorm(n = n, mean = 30, sd = 10)
   # 乱数生成したデータ間の無相関の検定結果と要約統計量を結合
    cor.test(x, y) %>% broom::tidy()
7 }
```

上記の関数を繰り返し実行し結果を表示します。

```
df <- data.frame()</pre>
  for (i in c(1:100)) {
  df <- dplyr::bind_rows(df, f())</pre>
  }
4
6 df %>%
     dplyr::select(conf.low, corr = estimate, conf.high,
                    p.value, t.value = statistic) %>%
     knitr::kable()
```

t.value	p.value	conf.high	corr	conf.low
-0.6968587	0.4858912	0.0005649	-0.0003116	-0.0011882
0.0017623	0.9985939	0.0008773	0.0000008	-0.0008757
2.7041769	0.0068474	0.0020859	0.0012093	0.0003328
1.3370885	0.1811938	0.0014745	0.0005980	-0.0002786
-0.8785695	0.3796348	0.0004836	-0.0003929	-0.0012694
-0.4978841	0.6185658	0.0006539	-0.0002227	-0.0010992
-1.0868945	0.2770835	0.0003904	-0.0004861	-0.0013626
0.5022349	0.6155023	0.0011011	0.0002246	-0.0006519
-0.1843269	0.8537570	0.0007941	-0.0000824	-0.0009590
0.7361921	0.4616138	0.0012058	0.0003292	-0.0005473
-0.4416020	0.6587773	0.0006790	-0.0001975	-0.0010740
1.5470584	0.1218492	0.0015684	0.0006919	-0.0001847
1.5915146	0.1114939	0.0015883	0.0007117	-0.0001648
0.2843042	0.7761773	0.0010037	0.0001271	-0.0007494
1.8776907	0.0604235	0.0017163	0.0008397	-0.0000368
0.6423035	0.5206762	0.0011638	0.0002872	-0.0005893

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0006477	0.0002288	0.0011053	0.6088898	0.5116588
-0.0007600	0.0001165	0.0009931	0.7944223	0.2605724
-0.0001447	0.0007318	0.0016083	0.1017691	1.6363373
-0.0014600	-0.0005835	0.0002930	0.1919786	-1.3047484
-0.0005668	0.0003097	0.0011862	0.4885832	0.6925641
-0.0010605	-0.0001840	0.0006926	0.6808148	-0.4113515
-0.0014780	-0.0006015	0.0002750	0.1786355	-1.3449685
-0.0003396	0.0005369	0.0014134	0.2299509	1.2004855
-0.0011404	-0.0002639	0.0006126	0.5551034	-0.5901302
-0.0008312	0.0000453	0.0009218	0.9193351	0.1012713
-0.0001783	0.0006982	0.0015748	0.1184560	1.5612873
0.0001928	0.0010693	0.0019458	0.0167996	2.3910650
0.0000146	0.0008911	0.0017677	0.0462998	1.9926499
-0.0013363	-0.0004598	0.0004168	0.3039304	-1.0280414
-0.0010745	-0.0001980	0.0006786	0.6580194	-0.4426493
-0.0017439	-0.0008674	0.0000091	0.0524320	-1.9395706
-0.0005955	0.0002810	0.0011575	0.5298036	0.6283059
-0.0009438	-0.0000673	0.0008092	0.8803897	-0.1504753
-0.0010493	-0.0001728	0.0007037	0.6992400	-0.3863467
-0.0005755	0.0003010	0.0011776	0.5008516	0.6731504
-0.0012308	-0.0003543	0.0005222	0.4282529	-0.7921850
-0.0013755	-0.0004990	0.0003776	0.2645350	-1.1157366
-0.0009539	-0.0000774	0.0007991	0.8625650	-0.1731100
-0.0001387	0.0007378	0.0016143	0.0989857	1.6497912
-0.0006698	0.0002067	0.0010832	0.6439195	0.4622258
-0.0007727	0.0001038	0.0009804	0.8164072	0.2321684
-0.0008308	0.0000457	0.0009223	0.9185480	0.1022629
-0.0014893	-0.0006128	0.0002637	0.1705959	-1.3702919
-0.0003941	0.0004824	0.0013590	0.2807000	1.0787482
-0.0004715	0.0004051	0.0012816	0.3650825	0.9057230
-0.0007799	0.0000966	0.0009731	0.8290072	0.2159751
-0.0011987	-0.0003222	0.0005544	0.4713009	-0.7203640
-0.0007291	0.0001474	0.0010240	0.7416470	0.3296731
-0.0009907	-0.0001142	0.0007623	0.7984612	-0.2553391
-0.0005462	0.0003303	0.0012068	0.4601888	0.7385361
-0.0005592	0.0003174	0.0011939	0.4779298	0.7096362
-0.0000971	0.0007795	0.0016560	0.0813498	1.7429077
-0.0004972	0.0003794	0.0012559	0.3962801	0.8482836
-0.0007113	0.0001652	0.0010418	0.7117756	0.3694725
-0.0007202	0.0001564	0.0010329	0.7265946	0.3496591
-0.0006672	0.0002093	0.0010859	0.6397313	0.4680745
-0.0007866	0.0000899	0.0009665	0.8405969	0.2011301

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0008804	-0.0000038	0.0008727	0.9931615	-0.0085709
-0.0003494	0.0005272	0.0014037	0.2384985	1.1787482
-0.0005889	0.0002876	0.0011641	0.5201552	0.6431063
-0.0007369	0.0001396	0.0010161	0.7549505	0.3121185
-0.0003494	0.0005271	0.0014037	0.2385108	1.1787172
0.0001365	0.0010130	0.0018896	0.0234993	2.2652181
-0.0005242	0.0003524	0.0012289	0.4307485	0.7879114
-0.0004443	0.0004323	0.0013088	0.3337542	0.9665798
-0.0014243	-0.0005478	0.0003288	0.2206407	-1.2248265
0.0000009	0.0008775	0.0017540	0.0497549	1.9620660
-0.0015014	-0.0006249	0.0002516	0.1623039	-1.3973649
-0.0008036	0.0000729	0.0009495	0.8704464	0.1630915
-0.0013561	-0.0004795	0.0003970	0.2836007	-1.0722659
-0.0003792	0.0004974	0.0013739	0.2660874	1.1121183
-0.0019344	-0.0010579	-0.0001814	0.0180024	-2.3655699
-0.0009997	-0.0001232	0.0007533	0.7829672	-0.2754544
-0.0007300	0.0001465	0.0010231	0.7431586	0.3276734
-0.0005485	0.0003280	0.0012045	0.4632905	0.7334393
-0.0008352	0.0000413	0.0009179	0.9263420	0.0924481
-0.0011643	-0.0002878	0.0005888	0.5199296	-0.6434540
-0.0009044	-0.0000279	0.0008486	0.9502210	-0.0624293
-0.0012892	-0.0004127	0.0004638	0.3560962	-0.9228293
-0.0008035	0.0000731	0.0009496	0.8702434	0.1633493
-0.0011117	-0.0002351	0.0006414	0.5990309	-0.5257946
-0.0003306	0.0005459	0.0014224	0.2222061	1.2206831
-0.0003539	0.0005226	0.0013991	0.2425647	1.1686005
-0.0002734	0.0006031	0.0014796	0.1774627	1.3486087
-0.0021564	-0.0012798	-0.0004033	0.0042123	-2.8618098
-0.0013014	-0.0004249	0.0004517	0.3421073	-0.9500099
-0.0003791	0.0004974	0.0013739	0.2660645	1.1121714
-0.0013231	-0.0004466	0.0004299	0.3179732	-0.9986317
-0.0007080	0.0001685	0.0010451	0.7062847	0.3768505
-0.0010910	-0.0002144	0.0006621	0.6315721	-0.4795153
-0.0005022	0.0003743	0.0012508	0.4026436	0.8369093
-0.0008326	0.0000439	0.0009205	0.9217432	0.0982381
-0.0007503	0.0001263	0.0010028	0.7776817	0.2823415
-0.0005507	0.0003258	0.0012024	0.4662466	0.7285997
-0.0014904	-0.0006139	0.0002626	0.1698304	-1.3727492
0.0001231	0.0009997	0.0018762	0.0253961	2.2353239
-0.0007870	0.0000895	0.0009660	0.8414089	0.2000917
-0.0011532	-0.0002767	0.0005998	0.5360922	-0.6187331
-0.0011201	-0.0002436	0.0006329	0.5859491	-0.5447157

得られた結果の内、有意水準 $\alpha = 0.05$ で帰無仮説が棄却 $(p < \alpha)$ されるケースを抽出します。

```
df %>%
    dplyr::select(conf.low, corr = estimate, conf.high,
                   p.value, t.value = statistic) %>%
    dplyr::filter(p.value < 0.05) %>%
4
    knitr::kable()
```

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
0.0003328	0.0012093	0.0020859	0.0068474	2.704177
0.0001928	0.0010693	0.0019458	0.0167996	2.391065
0.0000146	0.0008911	0.0017677	0.0462998	1.992650
0.0001365	0.0010130	0.0018896	0.0234993	2.265218
0.0000009	0.0008775	0.0017540	0.0497549	1.962066
-0.0019344	-0.0010579	-0.0001814	0.0180024	-2.365570
-0.0021564	-0.0012798	-0.0004033	0.0042123	-2.861810
0.0001231	0.0009997	0.0018762	0.0253961	2.235324

乱数生成した二つのデータからそれぞれランダムサンプリングを行 った場合(観測で得られたデータに相当)についても同様に確認して みます。

```
fs <- function(n = 5000000) {
     # 乱数生成したデータをランダムサンプリングする
     x <- rnorm(n = n, mean = 10, sd = 10) %>% sample(n, replace = TRUE)
     y <- rnorm(n = n, mean = 30, sd = 10) %>% sample(n, replace = TRUE)
     # ランダムサンプリングしたデータ間の無相関の検定結果と要約統計量を結合
     cor.test(x, y) %>% broom::tidy()
  }
7
   df <- data.frame()</pre>
   for (i in c(1:100)) {
    df <- dplyr::bind_rows(df, fs())</pre>
   }
12
13
   df %>%
14
     dplyr::select(conf.low, corr = estimate, conf.high,
15
                  p.value, t.value = statistic) %>%
16
     knitr::kable()
17
```

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0006881	0.0001884	0.0010650	0.6734794	0.4213776
-0.0008852	-0.0000087	0.0008678	0.9845254	-0.0193957
-0.0011018	-0.0002253	0.0006512	0.6144368	-0.5037504
-0.0019009	-0.0010244	-0.0001479	0.0219859	-2.2906127
-0.0003452	0.0005313	0.0014078	0.2348103	1.1880589
-0.0010522	-0.0001756	0.0007009	0.6945015	-0.3927536
-0.0007706	0.0001059	0.0009824	0.8128574	0.2367415
-0.0007872	0.0000894	0.0009659	0.8416394	0.1997970
-0.0001844	0.0006922	0.0015687	0.1216896	1.5477207
-0.0008810	-0.0000045	0.0008720	0.9919644	-0.0100713
-0.0016718	-0.0007953	0.0000812	0.0753375	-1.7784044
-0.0013875	-0.0005109	0.0003656	0.2532454	-1.1425022
-0.0012608	-0.0003843	0.0004922	0.3901354	-0.8593720
-0.0004965	0.0003800	0.0012565	0.3954676	0.8497437
-0.0008389	0.0000377	0.0009142	0.9329058	0.0841895
-0.0005163	0.0003602	0.0012367	0.4205979	0.8053844
-0.0008453	0.0000312	0.0009077	0.9444213	0.0697140
-0.0000942	0.0007823	0.0016588	0.0802381	1.7493064
-0.0009866	-0.0001101	0.0007665	0.8056113	-0.2460917
-0.0004837	0.0003928	0.0012693	0.3797351	0.8783845
-0.0011649	-0.0002884	0.0005881	0.5190026	-0.6448837
-0.0005201	0.0003564	0.0012330	0.4254437	0.7970127
-0.0012974	-0.0004209	0.0004556	0.3466508	-0.9411057
-0.0005361	0.0003405	0.0012170	0.4464842	0.7612895
-0.0014711	-0.0005946	0.0002819	0.1836679	-1.3295460
-0.0009434	-0.0000669	0.0008096	0.8811036	-0.1495704
-0.0007856	0.0000909	0.0009675	0.8388496	0.2033652
-0.0005564	0.0003201	0.0011967	0.4740812	0.7158545
-0.0019995	-0.0011230	-0.0002465	0.0120358	-2.5110938
-0.0010786	-0.0002021	0.0006744	0.6512922	-0.4519678
-0.0002719	0.0006046	0.0014812	0.1763678	1.3520236
-0.0008162	0.0000603	0.0009368	0.8927821	0.1347847
-0.0002388	0.0006377	0.0015142	0.1538971	1.4259007
-0.0007376	0.0001389	0.0010154	0.7560860	0.3106247
-0.0004382	0.0004384	0.0013149	0.3269947	0.9801853
-0.0006832	0.0001934	0.0010699	0.6654662	0.4323787
-0.0003629	0.0005136	0.0013901	0.2507916	1.1484290
-0.0013567	-0.0004802	0.0003963	0.2829216	-1.0737795
-0.0011486	-0.0002720	0.0006045	0.5430040	-0.6082767
-0.0016034	-0.0007269	0.0001496	0.1040655	-1.6254561
-0.0009287	-0.0000522	0.0008244	0.9071539	-0.1166293
-0.0004581	0.0004184	0.0012950	0.3494430	0.9356704

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0015536	-0.0006771	0.0001994	0.1300037	-1.5140877
-0.0006800	0.0001965	0.0010730	0.6603772	0.4393924
-0.0008239	0.0000526	0.0009291	0.9063849	0.1175996
-0.0009496	-0.0000731	0.0008035	0.8702457	-0.1633464
-0.0010279	-0.0001513	0.0007252	0.7350542	-0.3384101
-0.0007701	0.0001064	0.0009829	0.8119254	0.2379429
-0.0022496	-0.0013730	-0.0004965	0.0021392	-3.0701932
-0.0008833	-0.0000067	0.0008698	0.9879645	-0.0150848
-0.0008889	-0.0000124	0.0008642	0.9779446	-0.0276459
-0.0021426	-0.0012661	-0.0003896	0.0046397	-2.8310437
-0.0006137	0.0002628	0.0011394	0.5567189	0.5877221
-0.0011816	-0.0003050	0.0005715	0.4951737	-0.6821032
-0.0008802	-0.0000037	0.0008729	0.9934879	-0.0081618
-0.0003607	0.0005158	0.0013923	0.2487637	1.1533576
-0.0002880	0.0005885	0.0014650	0.1881887	1.3159565
-0.0011265	-0.0002500	0.0006265	0.5761682	-0.5589905
-0.0009220	-0.0000455	0.0008311	0.9190145	-0.1016752
-0.0016460	-0.0007695	0.0001070	0.0853181	-1.7206298
-0.0003015	0.0005750	0.0014515	0.1985359	1.2857342
-0.0006020	0.0002745	0.0011510	0.5393106	0.6138559
-0.0014461	-0.0005696	0.0003069	0.2027770	-1.2736798
-0.0008434	0.0000332	0.0009097	0.9408736	0.0741719
-0.0013021	-0.0004256	0.0004509	0.3412694	-0.9516603
-0.0006416	0.0002349	0.0011114	0.5994008	0.5252625
-0.0001120	0.0007645	0.0016410	0.0873740	1.7094158
-0.0012900	-0.0004134	0.0004631	0.3552270	-0.9244982
-0.0007274	0.0001492	0.0010257	0.7387347	0.3335294
-0.0007182	0.0001583	0.0010349	0.7233149	0.3540320
-0.0012996	-0.0004231	0.0004534	0.3441301	-0.9460363
-0.0006959	0.0001806	0.0010571	0.6863622	0.4037967
-0.0015430	-0.0006664	0.0002101	0.1361706	-1.4902041
-0.0010184	-0.0001418	0.0007347	0.7511258	-0.3171553
-0.0016168	-0.0007402	0.0001363	0.0978818	-1.6552108
-0.0006226	0.0002539	0.0011305	0.5701399	0.5678455
-0.0009117	-0.0000352	0.0008413	0.9372678	-0.0787043
-0.0007960	0.0000805	0.0009570	0.8571456	0.1800089
-0.0000100	0.0008666	0.0017431	0.0526580	1.9377152
-0.0007868	0.0000897	0.0009662	0.8410252	0.2005823
-0.0013187	-0.0004422	0.0004344	0.3228150	-0.9886898
-0.0013869	-0.0005104	0.0003661	0.2537401	-1.1413120
-0.0012656	-0.0003891	0.0004875	0.3843132	-0.8699767
-0.0009346	-0.0000581	0.0008184	0.8966633	-0.1298776
_			_	

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0008433	0.0000332	0.0009098	0.9407651	0.0743082
-0.0016399	-0.0007633	0.0001132	0.0878486	-1.7068574
-0.0014134	-0.0005368	0.0003397	0.2299764	-1.2004197
-0.0010562	-0.0001797	0.0006969	0.6878664	-0.4017523
-0.0005646	0.0003120	0.0011885	0.4854569	0.6975529
-0.0005607	0.0003158	0.0011923	0.4801120	0.7061224
-0.0008916	-0.0000151	0.0008614	0.9730435	-0.0337914
-0.0008238	0.0000527	0.0009293	0.9061179	0.1179367
-0.0006973	0.0001792	0.0010557	0.6886471	0.4006918
-0.0013219	-0.0004453	0.0004312	0.3193402	-0.9958149
-0.0018141	-0.0009376	-0.0000610	0.0360441	-2.0964297
-0.0006996	0.0001769	0.0010534	0.6924604	0.3955184
0.0002706	0.0011471	0.0020236	0.0103169	2.5650233
-0.0011907	-0.0003142	0.0005624	0.4823746	-0.7024886
-0.0010411	-0.0001646	0.0007119	0.7128092	-0.3680859
-0.0003629	0.0005136	0.0013901	0.2507705	1.1484801

df %>%

```
dplyr::select(conf.low, corr = estimate, conf.high,
              p.value, t.value = statistic) %>%
dplyr::filter(p.value < 0.05) %>%
knitr::kable()
```

conf.low	corr	conf.high	p.value	t.value
-0.0019009	-0.0010244	-0.0001479	0.0219859	-2.290613
-0.0019995	-0.0011230	-0.0002465	0.0120358	-2.511094
-0.0022496	-0.0013730	-0.0004965	0.0021392	-3.070193
-0.0021426	-0.0012661	-0.0003896	0.0046397	-2.831044
-0.0018141	-0.0009376	-0.0000610	0.0360441	-2.096430
0.0002706	0.0011471	0.0020236	0.0103169	2.565023

まとめ

無相関の検定が成功するケース(95% 信頼区間に 0 が入らない)が あるものの、その場合でも相関係数がゼロから大きく外れてはいない (極めてゼロに近い値になっている) ため、乱数生成した二つのデータ、 ならびに、乱数生成した二つのデータからランダムサンプリングした 二つのデータは、どちらも独立していると考えて差し支えないかと。

cor.test() 関数について

cor.test() 関数は無相関の検定を行う関数です。対立仮説 (H_1) は下記の出力の通り「true correlation is **not** equal to 0 (相関係数は ゼロではない)」ですので、帰無仮説 (H_0) は「相関係数はゼロである (相関はない)」となります。有意水準 α で検定が失敗すれば(帰無仮 説が棄却されない、 $p \ge \alpha$ である)帰無仮説が採択されますので相関 係数はゼロ(データ間には相関がない)と考えられます。

```
##
##
  Pearson's product-moment correlation
##
## data: rnorm(n) and rnorm(n)
## t = 0.46682, df = 4999998, p-value = 0.6406
## alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
## 95 percent confidence interval:
## -0.0006677559 0.0010852891
## sample estimates:
## 0.0002087668
```

Appendix

$About\ handout\ style$

The Tufte handout style is a style that Edward Tufte uses in his books and handouts. Tufte's style is known for its extensive use of sidenotes, tight integration of graphics with text, and well-set typography. This style has been implemented in LaTeX and HTML/CSS², respectively.

References

平大平. 『統計解析のはなし』. 日科技連出版, 改訂版 edition, 2006. URL https://www.juse-p.co.jp/products/view/196. ISBN 978-4-8171-8028-5.

 $^{^2\,\}mathrm{See}$ Github repositories tufte-latex and tufte-css